

平成27年度 助成金交付申請団体 評価シート

1. どうなん活性化事業支援助成

プレゼン番号	1	2	3
事業の名称	与那国テキスタイル	長命草(ボタンボウフウ)焼酎の開発	島の魅力で楽しく遊ぶ。楽しいが発展の原動力。プロジェクト
申請団体名	プレタポルテ衣瑠都	合名会社 崎元酒造所	与那国楽遊(らくゆう)事務局
交付申請額	1,000,000円	1,000,000円	1,000,000円
事業費総額	1,015,000円	1,586,320円	1,230,000円
①公益性	無形文化財を基にしたデザインなど、与那国の発信をしっかりと意識したブランド化の構想を持っている。	与那国産の商品で最もメジャーな長命草を使う商品であり、与那国を島外へ発信するのにふさわしい。	目的が不明確なまま島外産品をPRするイベントを多数計画しており、公益性に疑問が残る。
②持続性	昨年度からの継続事業であり、布作りまでの事業計画は概ね妥当である。	過去2回、オリジナルブランド商品の開発に成功し、販売を継続している実績は信頼できる。	常設の事務局が二人体制のため、計画されたイベントの実施・管理体制として不十分である。
③発展性	②の点に加え、布を作るだけでなく、さらなる商品開発の構想を持っており、事業拡張に期待が持てる。	将来、与那国産米使用の長命草焼酎も構想しており、地場産業への波及が期待できる。	計画された各種事業の目的が具体性に欠け、波及効果が期待できない。
④妥当性	商品開発等の事業拡張には、島内の技術者との協力や資金面も含めた組織化に、尚課題が残る。	安定生産には長命草生産量とのバランスが課題となるが、当面この点にも配慮が見られる。	島外からの移入・招聘に多額の支出が見込まれており、①と同様、有益性にも疑問が残る。
⑤実現性	ウェブ・SNSの利用と商標登録以外に具体的な販売戦略がなく、ブランド化に課題が残る。	県外での販売を意識して新たな販路の開拓、度数など味の調整を試みている点は評価できる。	事業計画に具体性が欠けるうえ、②と同様に実施体制が不十分である。
⑥活動意欲	昨年度事業を踏まえ、デザインの素となる与那国文化をさらに捉えなおそうとする姿勢は評価できる。	薄利多売を避け、島外でのブランド化を目指すという明確な目的意識がある。	娯楽の機会を作るといった以外に目的が不明確であり、信頼がもてない。
総合評価	○	◎	×

評価指標：◎助成対象とすべきである ○：助成対象とすることが望ましい △：助成対象とすることが考えられる ×：助成対象とすべきでない

平成27年度 助成金交付申請団体 評価シート

1. どうなん活性化事業支援助成

プレゼン番号	4		
事業の名称	与那国島における芭蕉糸の生産		
申請団体名	徳美工房。		
交付申請額	500,000円		
事業費総額	565,438円		
①公益性	最終的に与那国織で広く使われていた芭蕉布の復活を目指す点は、高い公益性が認められる。		
②持続性	既に商工会に加入し、与那国織事業で実績を積んできた点から、十分な維持管理体制が認められる。		
③発展性	他地域でブランド化されている芭蕉に対して販売戦略の視点が弱く、単発的なものに終わる懸念がある。		
④妥当性	支出の部に関して、備品購入費や車両の借用費など、工夫の余地が大きい。		
⑤実現性	これまでの事業者としての実績は評価できるものの、事業計画には④と同様の理由から課題が残る。		
⑥活動意欲	芭蕉糸生産の技術継承に関して、十分な意欲が認められる。		
総合評価	×		

評価指標：◎助成対象とすべきである ○：助成対象とすることが望ましい △：助成対象とすることが考えられる ×：助成対象とすべきでない

平成27年度 助成金交付申請団体 評価シート

2. どうなんまちづくり活動助成

プレゼン番号	1	2	
事業の名称	安心の未来につながる在来種の種、保存運動	子ども会夏休み教室	
申請団体名	在来種の種 研究会	久部良子ども会・育成会	
交付申請額	200,000円	118,936円	
事業費総額	250,000円	148,670円	
①公益性	種の保存という視点には公益性が認められるが、実際には乱獲につながる恐れがあり、事業への懸念がぬぐえない。	通常の子ども会の活動範囲としてみなせるため、本ファンドの対象とするには不足感がある。	
②持続性	研究会としての活動計画に具体性が欠けている。	島全体の子供の参加を促すためには、他の子供会と連携するなど工夫の余地がある。	
③発展性	種の交換と販売に関して具体的な方法、計画性が認められず、発展に期待が持てない。	通常の子ども会の活動として、単発的に終わってしまう懸念がある。	
④妥当性	在来種の採種・交換活動が乱獲につながる危険性への認識が不十分であり、妥当性に疑問が残る。	①と同様に、通常の子ども会の活動費としてみなせるため、妥当性に疑問が残る。	
⑤実現性	事業に不可欠な与那国の農家、農業に関する情報が不足していると言わざるをえず、実現性に期待が持てない。	地域における子ども会の活動実績から、実現性には期待ができる。	
⑥活動意欲	①と同様、種の保存への意欲は評価できるが、事業計画としては目的が不明確である。	事業の継続による地域の活性化という視点からは、十分な意欲が認められない。	
総合評価	×	×	

評価指標：◎助成対象とすべきである ○：助成対象とすることが望ましい △：助成対象とすることが考えられる ×：助成対象とすべきでない